

～学生の皆さんへのメッセージ～

新型コロナウイルス感染症について

今回の新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、ウイルスと長い間、闘い続けてきた人類の歴史の中でも最も困難なものの1つです。しかもこのパンデミックは現在進行形であり、日本は今、欧米の多くの国と同様な医療崩壊に至るかどうかの瀬戸際にあります。

皆さん、毎日のテレビニュース、新聞報道、インターネット動画、SNSなどで、医療崩壊をきたした国の市民がどれだけ悲惨な状況にあるか目の当たりにしているかと思えます。（見ていない人は見て下さい）

この瀬戸際で、日本が同じような医療崩壊に至るかどうかの重要な鍵の1つを皆さんの様な若い年代の学生達が握っています。

先日、テレビの街頭インタビューで、渋谷に遊びに来ていた大学生が、「自分の周りにはコロナは居ないし、年寄の病気ですよ、自分は若いし、大丈夫かなと思って遊びに来ました」と答えていましたが、そんなことはありません。欧米では、既に若年者の重症例や死亡例が多く報告されていますし、何よりも重要なことは、「自分が大丈夫でも、自分のせいで自分の回りに感染を拡大してしまわないか」と言うことです。皆さん一人一人がコロナウイルスに感染しない事、周りの人に感染させない事が最も重要な事です。

昨日、志村けんさんが新型コロナウイルスによる重症肺炎で亡くなった事が報道されました。新たな感染を予防するため、家族は志村さんの最後には立ち合えず、火葬が済むまで志村さんは家には戻ってこないと報道されています。そうです、有名人であろうと無名人であろうとウイルスには関係ありません。誰でも感染し、誰にでも感染させてしまうのです。

仙台市の繁華街のど真ん中のパブでは、既にクラスター感染が起こっている可能性があります。大崎市民病院でも、医師1名が新型コロナウイルス感染症を発症した直後まで診療を行っていた事が、昨日分かっています。皆さんはまだ深刻に受け止めていないかも知れませんが、宮城県においても感染爆発が今にも起こりかねない危機的な状態なのです。

事態は急を要しており、昨日夜の緊急会見で東京都小池知事は若者にカラオケ・ライ

ブハウスに行く事を控える様、また中高年者はバー・ナイトクラブなど接待を伴う飲食店に行く事を控える様に要請しており、全国的な緊急事態宣言の発令が差し迫っている事をうかがわせます。

皆さん自身や、皆さんにとって大事な身近な人の命を守る為に、どうか自分の行動をここ何週間か、あるいは何ヶ月間か自制して下さい。SNSで誘いの連絡がきても、今一度考え直して下さい。

コミュニティのなかで感染が拡がることによって、社会の経済活動も甚大な影響を受けています。マスクや医療器具の不足だけでも重大な問題なのは明らかですが、今や社会では世界的な物流の停滞や企業活動の停止により、多くの企業の倒産や失業率の上昇が懸念されています。日本の経済活動も影響を受け始めており、皆さんの御家庭の中でも経済的な困難が現実になり始めているのではないかと心配しています。これらのことは決して「人ごと」ではありませんし、「対岸の火事」でもない現実なのです。

新学期が4月22日（水）から始まりますが、大学内で一人でも学生や教職員の感染が明らかになれば、大学の機能はストップします。（京都産業大では学生を発端とした大規模なクラスター感染が確認されていますし、県立広島大でも同様の事が確認されつつあります） 皆さんへの注意事項は、CampusMateを通じて連絡されていると思いますし、大学のホームページにすべて載っていますので、今一度、自分の事として必ず読み直して下さい。我々教職員もまた皆さんと同じ資料を読み、同じ心構えで新学期を迎えます。

どうか、しばらくの間、この新型コロナウイルスの流行を一刻も早く終息させる為に協力して下さい。日本がこの感染症との戦いのなかで、欧米と同様な医療崩壊に見舞われた国の1つとして歴史に残るか、それとも持ちこたえ、surviveした国として記述されるかの鍵は、我々教職員や学生の皆さんを始め、コミュニティの一人一人が握っています。どうか宜しくお願いします。We are counting on you！

では新学期を皆で元気に迎えましょう。

学生支援センター長
助川 淳